



守・破・離

遊佐中学校だより
令和7年 4月号
校長 石黒 久

早起き・朝ごはん・躍動・早寝

79名の新入生を迎え、265名でスタート！

7日に新任式・始業式、そして第33回入学式を行いました。新入生79名を迎え、265名の全校生徒と41名の教職員で新年度がスタートしました。

2年前、遊佐小開校に合わせて一貫した教育となるように設定した学校教育目標「鳥海の高きに向かい、持続可能な未来を拓く生徒の育成」と、3年前の創立30周年を機に新たにしたスローガン「複眼思考でつくり出そう 誰一人取り残さない、持続可能な遊佐中」を目指して、今年度も生徒が主語の学校づくりに努めますので、ご支援ご協力をよろしくお願いします。

	男 子	女 子	合計
1年	37	42	79
2年	39	41	80
3年	53	53	106
合計	129	136	265

【職員担当一覧】

	1学年			2学年			3学年		
	氏 名	組	教科	氏 名	組	教科	氏 名	組	教科
主 任 担 任 副担任 若 草	荒木 竜也		保体	佐々木 秀		技家	仲川 譲治		数社
	碓谷 智恵	1	英	小松 健一	1	理	佐藤 麻衣	1	英
	齋藤 康介	2	社	佐藤 真理	2	英	太田 千裕	2	音
	荘司 早苗	3	英	田中 綾	3	保体	菅原 美穂	3	数
	荘司 明信	群3	国	丸谷 伸	群1A	数	和根崎 遼	4	社
	関矢 彩佳	副担		水戸 祥子	群1B	理	金内 京子	群2	家
				角田 理江	若草副担	国	阿部 澄子	副担	国
教育支援員	石垣 千香	佐々木利哉子		土田紗弥華	高橋 奈央		高橋 明子		
校 長	石黒 久	教頭	嵐田 美貴	保体	教務主任		阿曾 智也	理	
主任主査	高橋真由美	養護教諭	齋藤 慶子		事務補助		佐藤睦子	青山汐里	
SSS	高橋 有美	SC	須階清佳	菅原千鶴			植村理恵		
主任務員	佐藤博幸	小林 浩	ALT	サラ ピアドン	初任者指導教員		小野寺茂義	※毎週水曜日の勤務	
ICT 支援員	阿部 積								

【部活動担当一覧】 今年度より部活動は平日・中体連主催の大会だけの活動となります。

陸上競技	菅原 美穂	仲川 譲治	野 球	佐々木 秀	小松 健一
ソフトテニス	水戸 祥子	角田 理江	ソフトボール	齋藤 康介	丸谷 伸
男子バスケ	和根崎 遼	荒木 竜也	女子バスケ	田中 綾	荒木 竜也
バレーボール	佐藤 麻衣	(佐藤真理)	卓 球	荘司 明信	荘司 早苗
剣 道	碓谷 智恵	阿曾 智也	柔 道	佐藤 真理	
水 泳	嵐田 美貴		吹奏楽	太田 千裕	阿部 澄子
美 術	関矢 彩佳	金内 京子	駅伝	菅原 美穂	田中 綾
(スキー)	(嵐田 美貴 他)			和根崎 遼	齋藤 康介

「複眼思考でつくり出そう 誰一人取り残さない 持続可能な遊佐中」

最上位目標達成に向けて！



遊佐中生は、上にあるスローガンを「最上位目標」と呼び、この目標を達成するために、生徒会活動や学校行事等への取り組みを手段と捉え、日常的に活動しています。これは3年前、スローガンを決めるために熟議した、生徒、教職員、保護者、地域の方々の熱い想いが脈々と受け継がれている証です。私たち教職員も、この最上位目標を達成するために、始業式や入学式でも話しましたが、次のような方向性で生徒と共に取り組みたいと考えています。

○チーム担任制の考え方を導入する

時期によって、朝の会や給食、終わりの会を担当する先生が交替するなど、担任の先生だけではなく、学年の先生全員で生徒に接していくという考え方です。学年によっては、昨年度も給食の時、別の先生が対応するということはすでに実施しています。現在、学校では、より良い方法について研修をしています。学年によって、時期や方法などは異なると思いますが、生徒の多様な価値観を認めるために、全員でみなさんの成長を支えていこうと考えています。

○失敗やトラブルを生きた学びに変換する

大きなトラブルなど生徒だけで解決が難しいことは、教職員が先頭に立って対応していきますが、学校で起きる身近な失敗やトラブルは、「生きた学び」と捉え、子どもたち自身がその失敗やトラブルを乗り越え、成長につなげるために支援していきます。子どもたちの代わりに大人が解決するのではなく、当事者である子どもたち自身が解決する機会を大切にしていきます。

「失敗やトラブルを生きた学びに変える。」この考えが共有できれば、失敗やトラブルをネガティブなものではなく、ポジティブのものとして捉えられると思います。

○「全員が OK できること」は何か、対話を通して合意形成を目指す

「みんな違ってみんないい」だけでは、誰一人取り残さない学校は創れません。違うみんな全員が OK できるもの、「いいね」を押せるものは何か、対話を通して合意形成を目指すことが大切です。これは、簡単には実現できませんが、生徒と主に粘り強く取り組んでいきます。

以上のような取り組みが、絵に描いた餅にならないために、校長として、子どもたちの最大の教育環境である、教職員のいのち、健康を守らなければなりません。教職員の働き方改革については、より一層推進していきますので、保護者、地域のみなさまからもご理解いただきたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。